



いあいさつ

北海道知事 高橋 はるみ

北海道ふるさと会連合会会報の発行に当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

皆様におかれましては、平素より道政の推進に格別なるご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、ふるさと北海道の発展のために様々なご尽力をいただいていることに、深く敬意を表します。

さて、北海道新幹線の開業を来年三月に控え、本道の新幹線時代が目前に迫る中、本年、道外で六店舗目となる「北海道どきんこプラザさいたま新都心店」がオープンしました。本道の発信力が高まるとともに、新幹線の開業により本道と首都圏がさらに近くなることから、観光や文化など様々な分野の交流促進や、本道への移住、道産品の販路拡大による地域活性化が大いに期待されます。また、近年、本道を訪れる外国人観光客数が年々、過去最高を記録するなど、北海道観光は飛躍の時を迎えています。新幹線で結ばれる沿線地域はもとより、北海道全体が一丸となって、輝かしい新幹線時代の幕開けを迎えられるよう、効果的なプロモーションや新たなビジネス展開に全力で取り組んでまいります。

本道は、一八六九年、明治二年に「北海道」と命名されてから、二〇一八年（平成三〇年）に一五〇年を迎えます。この一五〇年を大きな節目として、先人に感謝し、未来を展望しながら本道独自の歴史や文化、自然などの貴重な財産を守り、磨き、次の世代にしっかりと継承する取組を進めていくこととしており、道としても、これまで以上に北海道の情報を国内外に向けて発信するなど、本道の活性化につなげるよう取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご支援をよろしく願います。

北海道ふるさと会連合会の皆様におかれましては、各ふるさと会相互の交流や親睦とともに、北海道の発展のための様々な活動をいただいております。中でも、例年、代々木公園で開催される「北海道産直フェア」は、ふるさと自慢の特産品が販売される機会として、北海道の食の魅力や道外の多くの方々に伝えていただいております。皆様からの熱いご支援に、心から感謝申し上げますとともに、今後とも、ふるさと北海道を力強く応援していただき、各地域の活性化にお力添えをいただければ幸いです。

おわりに、北海道ふるさと会連合会のおましますのご発展と、皆様の活躍をお祈り申し上げます。私からのメッセージといたします。

平成27年新年交礼会開催

総務部会 清水川 治二

平成27年新年交礼会が1月17日（土）明治記念館にて開催された。ちょうどセンタ―試験日と重なり出足が懸念されたがお天気に恵まれ予定開始時間前にはほぼ予定の参加者が着席された。

今年には各ふるさと会、企業会員、協賛企業団体合わせて189名が参加し定刻、総合司会の阿部正夫理事により開会が宣言された。

最初に森隆信会長から、この会は同郷の北海道各地から東京方面に出てきた仲間の集いでこれからも益々お互いの親睦を図り絆を強くしたい。今日はまさに新年のスタートの日である。との挨拶があった。引き続き高橋はるみ知事よりビデオを使つて、北海道も今、食と観光が注視され特に外国人観光客が急増している。来年は新幹線が新青森から新函館北斗まで開通し札幌までの完成も当初予定より5年短縮され2030年となったことを喜んでい



喜んでいる。昨年の代々木公園での北海道、産直フェアでは悪天候やテング熱問題にもかかわらず18万人もの入場者があつたと聞き日頃ふるさと会連合会の方々から北海道発展のために大変ご協力いただいていることに感謝している。との挨拶があつた。

次に浦本元人北海道事務所長より、最近、リスク分散の目的で保険会社が札幌本社を立ち上げた。又北海道を訪れた外国人観光客がはじめて念願の100万人を突破し115万人を達成した。今年も半年なのでジンギスカンの人気上昇が予想される。朝

ドラ、マッサン。人気で余市町が広く全国に知られることになった。と話された。北海道新聞社佐藤剛東京支社長からは、昨年の北海道はとかく暗いニュースが多かったがそんな中で北海道の観光景気はきわめて高く今やどのホテルも稼働率100%で宣伝の必要がないと言われている。結果、デパート、土産店も非常に活気を呈している。又ニセコのパウダー雪に魅せられて大勢のスキー客が海外から集まっている。他にも伊達のホタテが海外への輸出で忙しかったりお米の品質も今や日本一になった。将来は冬のオリンピックを是非もう一度札幌へ誘致したい。と強い報告があつた。

司会者より来賓、企業会員、協力企業の紹介の後、沢邦彦東京室蘭会会長より、これからは北海道を発展させるためにこれまで以上に一次、二次産業に依存してはだめで第二次産業を興していかなければならない。という強いメッセージがあり続いて明治記念館のお神酒で乾杯。

その後、司会者から指名されたふるさと会の代表20名が次々と各ふるさと会のPRをし、お楽しみ抽選会が開かれご提供いただいた174点の景品を今年は勢儀理事の会場の隅々まで通る声で当選番号が読み上げられ当選者に景品が渡された。

最後に高橋照美副会長により力強い一丁締めで閉会となり今回のお土産遠別町北川誠菓堂の、遠別旅情。を手に解散した。